

番 号 : 131299

国 名 : ガボン

担当部署 : 地球環境部 森林・自然環境保全第二課

案件名 : (科学技術協力) 野生生物と人間の共生を通じた熱帯林の生物多様性保全プロジェクト  
(研究施設建設支援)

### 1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務 : 研究施設建設支援
- (2) 格 付 : 3号
- (3) 業務の種類 : 専門家業務

### 2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間 : 2014年2月中旬から2014年5月下旬まで
- (2) 業務M/M : 国内 0.15M/M、現地 3.00M/M、合計 3.15M/M
- (3) 業務日数 : 準備期間 2日 現地業務期間 90日 整理期間 1日

### 3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数 : 1部
- (2) 見積書提出部数 : 1部
- (3) 提出期限 : 1月29日(12時まで)
- (4) 提出方法 : 専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出、  
または調達部受付 (JICA本部1F) への書類の提出

※2013年10月2日以降の公示案件(業務実施契約単独型のみ)より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を試行導入します。提出方法等詳細についてはJICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ)をご覧ください。

### 4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等 :
    - ①業務実施の基本方針 16点
    - ②業務実施上のバックアップ体制等 4点
  - (2) 業務従事者の経験能力等 :
    - ①類似業務の経験 40点
    - ②対象国又は同類似地域での業務経験 8点
    - ③語学力 16点
    - ④その他学位、資格等 16点
- (計100点)

類似業務	施設建設支援に係る各種業務
対象国/類似地域	ガボン/全途上国
語学の種類	英語

### 5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等 : 特になし
- (2) 必要予防接種 : 黄熱(入国に際してイエローカード(黄熱病予防接種証明書)が必要です。

### 6. 業務の背景

昨今、我が国の科学技術を活用した地球規模課題に関する国際協力の期待が高まるとともに、日本国内でも科学技術に関する外交の強化や科学技術協力におけるODA活用の必要性・重要性がうたわれてきた。このような状況を受けて、2008年度より「地球規模課題に対応する科学技術協力」(SATREPS)事業が新設された。本事業もその事業の一つである。

本業務の対象国である、コンゴ盆地に位置するガボンは高い森林率を有し、また生物多様性が高く固有種の多く生息する地域として知られている。ガボン政府は2002年に国土面積の10%以上を占める地域を13の国立公園として制定する等、自国のもつ豊かな生態系の保全への取り組みを始めている。また国立公園の設立・管理を通じて生物多様性の保全をすすめるにあたりエコツーリズムを重要視しており、国際NGO等により上述の国立公園をサイトとしたエコツーリズムの導入が進められている。

しかしながら保全の対象となる熱帯林生態系についての科学的データは必ずしも十分に収集・分析されておらず、これが効果的に保全活動を実施する上での課題となっている。またエコツーリズムに関しても、人と野生生物の接触により発生する人獣共通感染症等への対策を含め、適正な形でエコツーリズムを導入するための科学的知見の蓄積が必要とされているのが現状である。

京都大学はアフリカの熱帯林に生息する類人猿をはじめとする霊長類に関する研究に1950年代から取り組んでいる。同地域における保護区や国立公園においては、類人猿がその生息地を代表する動物種であることから、京都大学の類人猿研究者はその設立・管理に深く関与してきた。ガボンにおいてはガボン熱帯生態研究所と京都大学が締結した研究協約書に基づき、上述の13の国立公園の一つでありゴリラをはじめとする霊長類の貴重な生息地として知られるムカラバ・ドゥドゥ国立公園(PNMD)において霊長類の社会生態学的研究等を実施し貴重な研究成果を残している。

かかる状況のもと、これまでに京都大学とガボン熱帯生態研究所の協力により残された研究成果を踏まえた上で、PNMDにおける生物多様性の保全や人獣共通感染症の予防、エコツーリズムの促進等を目標とした技術協力プロジェクトが2009年9月から5年間の計画で開始された。

本プロジェクトでは、プロジェクトサイトでの研究活動、エコツーリズム推進の拠点としてPNMDの入り口にあたるドゥサラ村に研究棟、居住棟、トイレ棟を含む、リサーチステーションを建設することとしており、2012年4月、本邦コンサルタントにより施設設計を行い、現地の施工監理コンサルタントによる入札業務をへて現地建設業者との契約により2012年11月から建設工事を開始した。しかしながら、工事が終了しないまま右コンサルタント及び建築業者は契約履行期間である2013年11月末をもって業務を中断した。なお、両者共に、事情により契約延長は不可能としている。

上記事態に対し、JICAでは新たな現地建設業者との契約を行い、工事を再開、完工するため、本邦より本業務従事者を備え、現地建設業者の選定のための入札図書の作成、業者選定手続き、及び契約交渉等の各種支援業務並びに現場での施工監理業務を行うことを決定し、本公示を行うものである。

## 7. 業務の内容

本業務従事者は、JICAガボン支所やプロジェクト関係者等と協議・調整しつつ、建設途中であるリサーチステーションの現状を把握し、現状の施工計画について必要な改訂を行った後、同支所の契約する建設業者の行う施工に関する監理・指導を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

### (1) 国内準備期間 (2014年2月中旬)

- ①リサーチステーションの設計図書及びこれまでの建設中の現場報告を理解し、現地調査で収集すべき情報を検討する。
- ②ワークプラン(和文・英文)を作成し、地球環境部 森林・自然環境保全第二課に提出する。

### (2) 現地派遣期間 (2014年2月中旬～5月中旬)

#### ①入札図書作成支援及び契約手続き支援業務

ア ワークプランを元に、ガボン支所、プロジェクト関係者を含むガボン側関係者との協議等に参加し、現地業務の全体計画を検討する。

イ 現地調査に参加する。

ウ 建設中のリサーチステーションの現状を分析し、ガボン支所が行う、建設業者選定のための入札図書作成の補助を行う。

エ ガボン支所の実施する開札業務を補助し、その結果のとりまとめ、見積資料の確認補助を行う。

オ 契約書類の作成を補助し、契約交渉にあたっては、ガボン支所を技術的に補助する。

② 施工監理業務

ガボン支所の契約する現地建設業者による建築工事の施工監理を行う。施工監理業務は、建設業者契約書及び設計図書に基づき、JICAの監督職員及び分任監督職員を補佐しつつ施工現場の立会い、出来型・品質・数量の確認及び竣工検査を含む各種検査等を実施するものであり、竣工に至るまで現地に常駐し業務に従事する。

具体的には、ガボン支所と現地施工業者との契約書にて規定される仕様書、設計図等則って所定の品質を確保しながら工程どおり施工が行われるように、以下の業務を行う。

ア 工程及び品質管理

建設業者がガボン支所に提出する施工計画、品質管理計画等の書類を検査し、必要であれば修正を指示し、ガボン支所における承認手続きを技術的に支援する。工事に使用される各種材料・資材等の承認や検査を行い、工事段階毎の出来形・品質・数量等の確認・検査も実地で行う。

イ 設計変更の検討と対応

工事内容や資機材の仕様等について入札図書から変更する必要がある場合、事前に変更内容及びその理由と妥当性を監督職員及び分任監督職員に報告する。変更に伴い必要となる図面や積算資料等を取りまとめ、ガボン支所の承認を得た上で建設業者に提供する。

ウ 進捗の報告

施工監理業務の進捗を月例報告書に取りまとめ、監督職員・分任監督職員及びガボン側実施機関に提出する。必要に応じて、関係者間で定期的な調整会議を開催する。

エ 安全管理の徹底

改良工事が安全に行われるよう、施工業者による安全管理対策を確認し、必要に応じて指導を行う。

オ 竣工検査

改良工事の完了後、竣工検査に必要な書類等を準備の上、竣工検査日を前もって監督職員及び分任監督職員に通知する。検査終了後、ガボン支所と現地施工業者との契約書にて規定される完工証明書等の書類を発行する。

③ 現地業務結果報告書（和文・英文）を作成し、ガボン支所、プロジェクト関係者及びガボン側関係者に提出する。

(3) 帰国後整理期間（2014年5月中旬）

帰国報告会、国内打合せに出席し、専門家業務完了報告書（和文）を作成し、地球環境部 森林・自然環境保全第二課へ報告する。

## 8. 施設概要

(1) 立地：ガボン国 ニャンガ州 ドゥサラ村

首都リーブルビルからニャンガ州 州都のチバンガまで飛行機で約一時間（週二便）もしくは車で約10時間。チバンガからは車で約3時間

(2) 施設：コンクリートブロック造の研究棟（11.5m×9m 平屋）×1、居住棟（12.5m×10.5m 平屋）×1、トイレ棟×1

## 9. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は（3）専門家業務完了報告書とする。

(1) ワーク・プラン（和文・英文）2部 それぞれガボン支所及び地球環境部 森林・自然環境保全第二課へ提出

(2) 現地業務結果報告書（和文・英文）2部 それぞれガボン支所及び地球環境部 森林・自然環境保全第二課へ提出

(3) 専門家業務完了報告書（和文）2部 地球環境部 森林・自然環境保全第二課へ提出

体裁は簡易製本とし、電子データを併せて提出する。また、業務従事月報を作成し、ガボン支所に提出すること。

## 10. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成ガイドライン」(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。留意点は以下のとおりです。

### (1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含めず、当機構より別途支給します（見積書の航空賃及び日当・宿泊料等欄には0円と記載下さい）。

### (2) 臨時会計役の委嘱

以下に記載の一般業務費については、ガボン支所より業務従事者に対し、臨時会計役を委嘱する予定です（当該経費は契約には含みませんので、見積書への記載は不要です）。

・ 消耗品費（施工監理諸機器）

・ 通信・運搬費（通信費）

臨時会計役とは、会計役としての職務（例：現地業務費の受取り、支出、精算）を必要な期間（例：現地出張期間）に限り機構から委嘱される方のことをいいます。臨時会計役に委嘱された方は、「善良な管理者の注意義務」をもって、経費を取り扱うことが求められます。

## 11. 特記事項

### (1) 業務日程／執務環境

#### ① 現地業務日程

現地派遣期間は2014年2月中旬～5月中旬を予定しています。

#### ② 便宜供与内容

当機構ガボン支所による便宜供与事項は以下のとおりです。

##### ア) 空港送迎

あり

##### イ) 宿舍手配

あり

##### ウ) 車両借上げ

全行程に対する移動車両の提供

##### エ) 通訳備上

必要に応じて現地にて備上

##### オ) 現地日程のアレンジ

機構がアレンジします。

##### カ) 執務スペースの提供

あり

### (2) 参考資料

本プロジェクトに関する以下の資料が、当機構図書館のウェブサイト

(<http://libopac.jica.go.jp/>)で公開されています。

・ 「ガボン国 野生動物と人間の共生を通じた熱帯林の生物多様性保全プロジェクト詳細計画策定調査報告書」

・ 「ガボン国 野生動物と人間の共生を通じた熱帯林の生物多様性保全プロジェクト中間評価報告書」

また、当該施設建設に係る、施設設計図、工事進捗状況報告書を担当（森林・自然環境保全第二課 深澤 03-5226-9538）より貸与いたします。

### (3) その他

① 業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度

ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。  
②語学：フランス語が出来ればなお良い。